

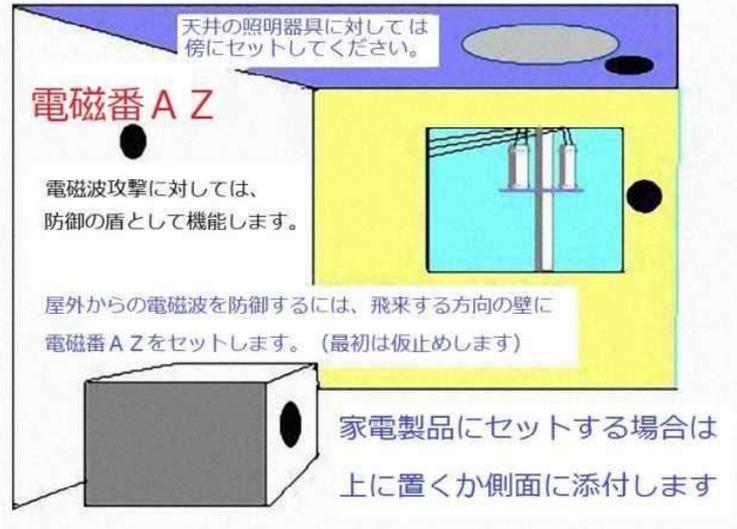
「電磁波中和装置電磁番 AZ」のセット方法を解説いたします

「電磁波中和装置電磁番 AZ」は、電磁波を発生する家電製品、事務機器、モーター内蔵機器類に装着もしくは上に載せるだけでも防御効果を発揮します。

外部からの壁越しの電磁波ノイズにも室内側の壁にセットすることで防御の盾として機能します。ここでは具体的な防御方法について詳しく解説いたします。

「電磁波過敏症対策」も「電磁波攻撃対策」も基本的には同じ設置方法で対応できますが、格段に強力な電磁波による外部からの攻撃対策では防御を厚くしていただく必要があります。

個々の事案にも対処方法を具体的に紹介していますので、ご自宅の部屋数、広さ、戸建てかマンションかといった住環境や電磁波被曝の程度に応じて以下の解説を参照下さい。



「電磁波中和装置電磁番 AZ」は身近に携帯いただく他

に、家電製品にセットする方法、室内壁・窓辺に設置する方法、車両内に設置する方法があります。「電磁番 AZ」の使用に際しましては以下の解説をすべてお読みください。

電磁波防御の対象となる身近な室内家電機器類

◀電磁波が発生する身近な家電製品▶ パソコン、携帯電話、冷暖房エアコン、ゲーム機、TV及びDVD装置、ホットカーペット、床暖房、洗濯機、照明器具、ドライヤーなど

◀キッチンで使用する家電▶ 電子レンジ、冷蔵庫、炊飯器、ミキサー、IHクッキングヒーターなど

◀屋外に設置された電磁波が発生する機器▶ 太陽光発電のパワーコンディショナー装置、冷暖房室外機、自家用の車両エンジン、近隣に設置された動物忌避用の音波機器、自動ドア、レジスター、電車、ディーゼル車モーターなど

「電磁番 AZ」の効果について、最初にお伝えしたいこと

「電磁波中和装置電磁番 AZ」は、1個ずつ波動調整した手造り製品で大量生産品ではありません。外観も黒いゴム面で被覆されていて、見た目には決して格好よくはありませんが、電磁波ノイズに対してはすごい防御機能を秘めています。電磁波過敏症の症状の不安のある方、すでに過敏症で苦痛や障害を受けておられる方、屋外からの電磁波攻撃で困っておられる方にご利用いただくことを主対象といたしております。

メガネや補聴器が必要でない方同様に、電磁波に対して何ら体感のない方や無症状の方は使用される必要はありません。電磁波被曝に違和感がある場合にのみご使用ください。

「電磁波中和装置電磁番 AZ」は東洋医学の長年の研究から開発されたものです。効果や理論的根拠については関連論文を別コーナーのサイトに掲載しています。東洋医学や波動理論に多少関心のある方でないと理解しにくい部分もあるかと存知ますが、当方としては現段階で個別に認知していただければ十分だと考えております。

実際の効果をより体感されたい方は、キネシオロジーなどのカイロプラクティック治療で活用されている筋力テスト情報をサイト検索ください。これまでも、当方の電磁番をご使用いただき電磁波ノイズの悪影響から開放された事例が幾例もあります。

当初は効果に半信半疑であっても電磁番を実際に使用されて日頃の不快感から開放されたとして喜んでいただいております。電磁番ユーザー様の評価と声を参照下さい。

電磁波ノイズによる障害を感じておられる方は全国に少なからずおられます。当初はいろいろな電磁波被曝による苦痛を訴えてこられますが、「電磁番 AZ」を身近にセットしていただくことで、多くの場合それまでの不快感がそれこそ嘘のように払拭されてしまうことがあります。使っていただいた皆様は、効果を確認されると一様に「不思議だ！」とおっしゃいます。いままでの苦痛は一体何だったのだろうという感じで、あらためて戸惑われる方もおられます。

電磁波過敏症による苦痛自体は錯覚ではありません。そのおぞましい感覚が取り除かれるまでは、それこそ通常の生活にも支障を来すほどに苦しんでいる場合が少なくありません。

電磁波による過敏症や不快感に苦しんでいる場合でも、それらの症状がずっと継続して続くものではありません。日常的に防御することによって不快感を軽減させることができるだけでなく、次第に健康な元の生活が送れる状態にまでもどることができます。中には過敏症のために不自由な生活を強いられたり、お仕事まで制限されるまで追い込まれるというようなきびしい状況に置かれている方も少なくありません。

電気を一切使わない生活、あるいはわざわざ田舎に住居を移られてしまわれるなど、それまでの生活環境をすべて変えざるを得なくなるケースさえもあります。

しかし一旦それらの苦痛から開放されると、狐につままれたような感覚を経験されます。それまでの苦痛が強ければ強いほど、そうした不思議な感覚に包まれます。原因となる電磁波ノイズが

目に見えないだけに、それは自然な反応なのです。防御に対しては最後まで諦めないでください。

「電磁番 AZ」の効果的なセットの手順（1）

「電磁波中和装置電磁番 AZ」の機能目的をご確認いただき、そのまま携帯していただく以外に、電磁波を発生する家電製品、事務機器、モーター内蔵機器類ケースに装着もしくは本体上に載せるだけで電磁波過敏症対策として最大限の防御効果を引き出すことができます。

電磁波過敏症の程度は個人差（個体差）が大きく、被曝期間によってその障害の程度やレベルについては単純に比較できない部分があります。

不快感の原因となる電磁波ノイズが屋内の電気製品からのものか、屋外から飛来してきているものかの判別方法としては、まずご自宅の配電盤の電源（ブレーカー）を切ってみて下さい。それが出来ないときは、室内の電気器具のコードをすべてオフにしてコンセントから抜いてそのときの体感を比較検証してみてください。

これによって不快感が変化し、解消もしくは軽減する場合はご自宅内の電磁波ノイズが悪影響を及ぼしている可能性が高くなります。また室内の電源を落としても変化がない場合は、往々にして屋外からの電磁波ノイズの影響を強く受けている可能性が出てきますので、個別に自宅周辺の電磁波環境の程度を電磁波測定器で計測して被曝の程度や飛来方向を特定する必要があります。同時に住宅周囲の電磁波環境によるものなのか、あるいは悪意のある電磁波攻撃によるものかの判断も必要です。これが電磁波対策で最初に押さえておくべき重要な検証ポイントとなります。

屋外からの波動障害が懸念される場合はその電磁波が飛来してきている方向を特定するとともに、その壁側（室内）

に「電磁番 AZ」を貼り付ける形でセットしてみてください。

これは外からの被曝や攻撃に対して、いわゆる防御の盾を置く形になります。住宅に隣接して電柱トランスや送電線がある場合には、対応する部屋の内側の壁に「電磁番 AZ」をセットして下さい。マンションの場合は、屋外だけではなく上下階からの生活電磁波の影響にもご注意ください。特に寝室の壁内部の鉄骨部分やベットのスプリング構造が電磁波を集め易いことにも注意いただく必要があります。また寝室の場合は、就寝時の頭の高さに合わせて少し低めの位置にセットして下さい。室内の照明器具からの電磁波が心配な場合は器具の傍か、もしくは天井部分に「電磁番 AZ」をセットします。

室内に家電製品がたくさんあって対応に困る場合は、応急的に配電盤の傍に「電磁番 AZ」をまず 1 個セットして室内での防御効果を確認してみてください。この方法で中和放電効果が一様に発揮される場合もあります。キッチンなどにある余計なステンレス板、金属トレーなどは片付けましょう。

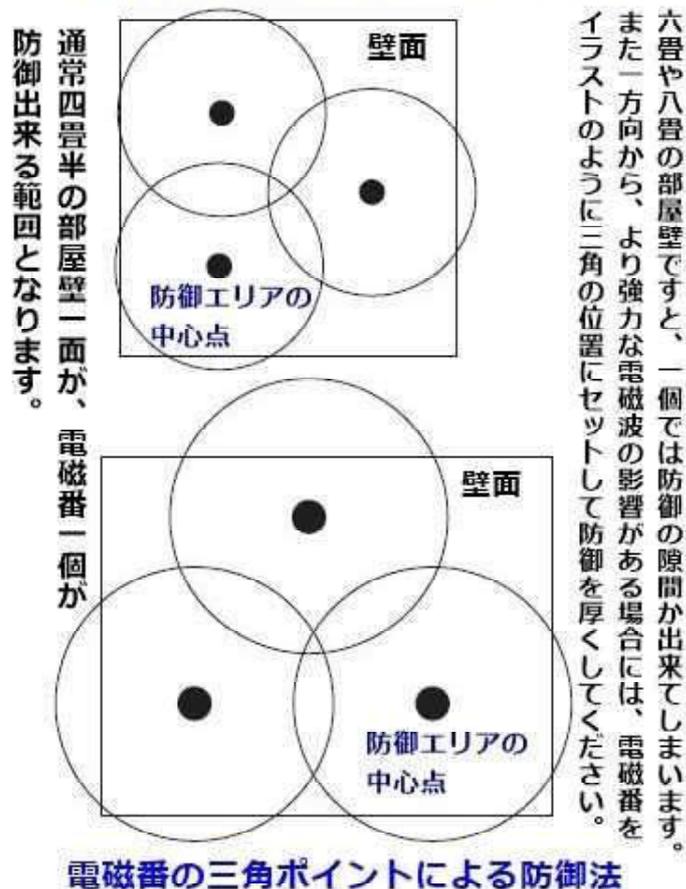
電磁波攻撃などの屋外からの電磁波に対して通常「電磁番 AZ」1 個でカバーできる範囲は、直径 3 メートルから 4 メートル未満です。それは四畳半の壁 1 面程のエリアですので、それ以上の広い部屋の場合では壁 1 面を「電磁番 AZ」1 個だけではカバーできないことがあります。

細長い部屋や四畳半以上の部屋の場合、飛来方向の壁に盾を並べて置くように複数個セットしていただくと効果的です。防御の盾の数が多ければ、それだけ攻撃を受けた時の隙間をなくすことができます。

電磁波の照射方向が度々変動するときや次第に電磁波が強く照射されだしたりする場合には、電磁番を二枚重ねて防御する方法も効果的です。

5 G 時代の幕開けとともに今後の電磁波環境は大きく変化してきます。その特徴はより強力な電磁波（「超高

壁面に固定するか吊り下げる



周波・ミリ波」帯)が照射されるということです。5Gシステム運営に使われる通信衛星も一気に急増しますし、設置される中継局も数が増えます。

頭上はもとより、今までになく電磁波はあらゆる方向から照射されてくることになります。

ここで重要なポイントは出来るだけそうした防御体制の死角を作らないように対処することです。主に生活の中心となる居間やキッチン、寝室など滞在時間の長い部屋の防御を重点的に行ってください。普段より電磁波の悪影響を受けている場所に長く居続けたり、近付いたりしないように生活環境の変化にはより注意が必要です。同時に屋外からの電磁波ノイズの飛来方向が特定できたときは、その方向の防御を厚くしていただくにより効果的です。強力な電磁波照射で壁にセットした電磁番が振動したり弾き飛ばされる現象が報告されていますが、それでもしっかりと「電磁番 AZ」による防御効果は発揮されています。

近隣に設置された動物忌避用の超音波・電磁波発生機などの照射が気になる場合も対応する方向の壁内側にセットしていただけます。ご自宅、もしくは隣接の家屋に太陽光発電のソーラーパネルが設置されている場合は、電流を変換する屋外のパワーコンディショナー装置が置かれている傍近くの壁内側にセットしてみてください。

携帯していただく場合、ポケットなど衣類に「電磁番 AZ」が包まれた状態でも防御効果に変わりはありません。その他
バック、帽子、皮革類、ビニール等で被覆されても防御効果は変わりません。

携帯時も通常は1個で十分ですが、電磁波そのものには指向性がありますので、たとえば体の前後に鎧のようにセットするとより防御されやすくなります。

特に電磁波による頭痛や吐き気、振動感などといった身体反応が強く出る場合は、頭部・胸部・背部の3ポイントに「電磁番 AZ」をそれぞれ当てて防御して下さい。この場合、直接皮膚面に「電磁番 AZ」を密着させた状態がもっとも防御効果が発揮されますが、夏場の汗などが気になる場合は「電磁番 AZ」をラップで被覆していただいても構いません。

また、体が帯電し易く不快な場合や体調が思わしくなく気の流を良くしたいときなどは、就寝時に枕元、もしくは足先に「電磁番 AZ」置いていただくと体に溜まった電磁波を放電されて気の流が改善してきます。体調を整える詳しい使い方の説明書を製品には添付いたしておりますので参照ください。

車両エンジンの電磁波に対応させるには、座席とエンジン部分の間に「電磁番 AZ」をセットします。

車両の前面にエンジンがある場合、車両の後部にセットされても防御効果がうまく発揮されません。常に車両エンジンから発生する電磁波ノイズに対して体の前面に盾を置くような位置に「電磁番 AZ」をセットして防御してください。

車両エンジン、モーター機器からの影響が特に強い場合は、エンジンの真上、あるいはイラストのようにフロントの左右両側にセットするとより効果的です。

車両エンジンからの電磁波は、実際に電磁波測定器で測定いただければそれがいかに強いものであるかは簡単に確認できます。

電磁番使用時の注意事項

「電磁波中和装置電磁番 AZ」は、周囲のマイナス波動の電磁波ノイズを中和放電して干渉するため、盗難防止システムが設置されている店舗内ゲートのセンサー（レーダー）の電磁波にも反応し電波を変換してしまいます。

「電磁番 AZ」本体からは何ら電波は発生していませんが、携帯したまま入店されると、警報システムによっては電磁波シールドの変化で出店時のゲートで警報機が誤作動してしまう場合がありますのでご注意ください。

「電磁番 AZ」は構造上完全防水ではありませんので水洗いしないで下さい。また、無理に折り曲げたり分解したりしないで下さい。内部の微調整波動板や電子回路が断線してバランス構造が破損してしまいます。

本体内部の電子構造には衝撃に対し十分な耐久性がありますが、波動吸収板（ゴム板）の接着部分はまれに電磁波環境の悪影響で変質劣化する場合があります。電磁波のレベルが特別強い箇所に長期間設置している場合や温度変動が伴う環境などの影響で、本体の波動吸収板（ゴム板）の接着部分が緩んで隙間が出来る場合があります。このようなときは市販の接着剤で隙間を補強するかビニールテープやラップで被覆してください。分離破損しなければそのままの形で継続して使用いただけます。耐用年数は20年ほどです。

加熱部分や火気に触れるところには「電磁番 AZ」をセットしないでください。不燃素材ではありません。また電子レンジ内には入れないでください。

本体を被覆するゴム板は出来るだけ臭いを押さえた素材を使用していますが、臭いが気になる場合は「電磁番 AZ」をそのままラップで包んでください。被覆することで臭いが防げます。本体をラップや布類で被覆していただいても防御効果はまったく変わりません。

「電磁番 AZ」自体には機能的な裏表の違いはありませんので、どちらを上にしてセット頂いても構いません。「電磁番 AZ」を壁や天井部分にセットする場合は、まず仮止めして効果を確認して下さい。壁面や装置に両面テープを使って貼り付けた状態（仮止め）で固定していただいても構いませんが、必ず剥がしやすい固いゴム面側にテープをセットして下さい。室内などの電磁波環境の変化によっては、セット位置を時々移動して頂く方が防御効果が発揮できる場合があります。これについては後半で詳しく解説いたします。

車両でのセット位置

電磁番AZ



「電磁番 AZ」はゴムで被覆されていますので軽い衝撃では破損はしませんが、外形が変わるほど強くねじ曲げたり踏みつけると内部の電子回路が破断する場合がありますのでご注意ください。また全天候・完全防水対応ではありませんので、屋外設置には対応していません。

家電製品や事務用電子機器、携帯電話機器、無線ルーター、電波時計の傍に「電磁番 AZ」を置かれても何ら悪影響はありません。また「電磁番 AZ」をスーツケース、もしくは手荷物としてバックに入れて航空機に搭乗いただいても何ら支障はありません。本体内部に電池は内蔵されていませんし、「電磁番 AZ」本体からは何ら電波（電磁波）は発生いたしません。

「電磁波中和装置電磁番 AZ」は治療器具ではありません。いわゆる電磁波被曝対策グッズ、風水お守りグッズとして身近に使っていただければ幸いです。

「電磁番 AZ」をステレオなどの音響装置の傍に置くと耳に感じられる音質（波動）がより安定します。是非ご活用下さい。「電磁番 AZ」の効果的なセットの手順（2） 防御の基本はどこからの電磁波にもっとも影響を受けているかを確認する必要があります。生活環境に影響を与える家屋内外からの電磁波ノイズとしてはまず以下のような事例が挙げられます。

- 1、屋内の電気製品や電気設備が原因となる場合。**
- 2、隣接する屋外の設備（電波塔、送電線、電柱トランス、太陽光発電パワーコンディショナーなど）からの電磁波ノイズの影響を受けている場合。**
- 3、外部からの悪質な電磁波攻撃、不動産がらみの立ち退きなどの嫌がらせ、集団ストーカー行為、レーザーポインターや動物忌避装置からの照射など、外部から故意に電磁波ノイズが照射されている場合。**
- 4、さらに室内に多くの電気製品やモーター内蔵機器がある場合は、室内だけでなく屋外からの電磁波が同調し増幅した形でより影響を受け易くなります。**
- 5、工場やオフィスの職場環境による影響としてモーター機器、電子機器、事務機器、通勤時の車両エンジンや交通機関による電磁波ノイズの影響があります。**

客観的には電磁波測定器を使えば自宅や職場の環境電磁波の強度は計測することが可能ですが、高周波・低周波・超音波といった電磁波そのものは目には見えないだけに原因となる電磁波ノイズだけを個別に見つけ出し特定することは困難な場合がほとんどです。

法的対応策も不備な状況下にありますので、現状ではあくまでも生活環境を自分で自衛防御するという基本的考えで対処するのがもっともベストではないかと存じます。

家屋に隣接する施設（電柱のトランスなど）や工場から照射される電磁波ノイズ、送電線設備に対しては、隣接側の対面壁内側（室内）に「電磁番 AZ」を貼り付けるかたちでセットしていただきます。この場合も防御の盾を置くことが基本となります。

防御効果そのものは実際に使っていただき体感していただくのがベストですが、個別には電磁波の影響を長期間受けている過敏症の方は瞳孔が開き易く、そうした変化や筋力テストで防御効果の確認が可能です。

こうした身体の変化が生じるのは、電磁波環境の影響で血流が悪くなり筋力が低下することが原因ですが、体の自律神経がすでに電磁波の影響を受けていることによる身体反応だといえます。

そうした電磁波に対する過敏症の程度も個人差があっ

て、室内照明の蛍光灯やひげ剃り機に強く反応される方や自動ドアだけに反応される方などそれらには多様なパターンがみられます。

電磁波の影響による過敏症も軽微なものから、電磁波攻撃のように集中的な被曝ではより深刻な被害を被る場合がありますから、それぞれに対応した効果的な防御策を考える必要があります。

屋内外の電磁波被曝防御のポイント

電磁波は飛んでくる方向や発生源からの指向性が強く出ますので、基本的には照射される方向に一番近い壁、もしくは窓際に「電磁番 AZ」を説明書に従って 1 個か 2 個セットいただければ防御できます。

「電磁番 AZ」をセットしていただくのは、すべて室内側です。風雨にさらされる屋外壁ではありません。通常はお部屋の壁に掛けるか、両面テープなどで添付していただくことになります。同時にセット位置のポイントや高さもその都度調整しつつ比較して、実際の効果をご自分の体で体感し検証していただくことが必要です。

最初はず 1 個で防御効果を見ていただき、改善がない場合は隣接する別方向からの電磁波ノイズも同時にカバーしていきます。場合によっては屋外の送電線や隣接する電柱トランスの位置などを目安にセットし直して比較してください。この場合も居間や寝室などが、もっとも長い時間電磁波の影響を受ける生活空間を中心に考慮してセット防御していただきます。ご家庭内では、ベット周辺やキッチン・勉強机周辺などが防御の重要なポイント箇所となります。

屋内設置の電気製品では、テレビやDVD機器、IHクッキングヒーター、電子レンジ、冷蔵庫、掃除機、ミキサー、冷暖房装置、洗濯機、レジスター、パソコンなどがわりと強い電磁波ノイズを発生します。

内部にモーターが内蔵されている家電の場合は、使用時に特に強い電磁波ノイズが発生しているものとみてください。

また強弱に関係なく特定の機器特有の軽微な電磁波ノイズ（蛍光灯やひげ剃り、ドライヤー、ガスコンロ着火プラグなど）に症状悪化を指摘されることもありますので、これも検証する場合の防御ポイントとなります。

過敏症などの症状がそれほど出られなくても、O-リングテストなどの筋力テストを使って比較検証していかれるとよい判定結果が出せます。筋力テストの具体的なやり方などは製品に同封の資料を参照ください。これは練習していただくとなたでも要領を習得できます。



「電磁番 AZ」のセット数が多い方がより防御効果は発揮されますが、有害な電磁波発生源や電気製品を個別に特定して「電磁番 AZ」を適切にセットされるのがもっとも効果的です。意外な機器が電磁波障害の本当の原因になっていたりします。

電磁波の悪影響については、ご存知のように日本国内では定説としては認知されてはいません。実際にご家族や身近な友人に過敏症の方がおられない限り、電磁波汚染の実態は十分に理解していただける状況下にはありません。欧米では、高圧送電線周辺の不動産価値はほとんどありませんが、日本ではそうした議論はほとんど問題視されません。もちろん各種公的機関へ相談されても何ら解決策は得られません。相談自体は受けられたとしても具体的な対応策や情報は何も出されてはきません。結局のところ現状ではそうした電磁波の悪影響を身近に感じ体験している者が、個別に自衛していくしか対応策はないということになります。

電磁波中和放電装置「電磁番 AZ」につきましても、多くの場合実際に使用されるまでは効果について半信半疑の方がほとんどです。実際に1個単位でご購入いただき、数日間使っていただいてその効果を確認いただき、その後追加注文いただくケースが少なくありません。しかも実際に過敏症の方でないと、その防御効果を十分に体感していただけない場合もあります。早い話、過敏症が強く出られる方ほど、普段苦痛を感じておられる方ほどその防御効果をよりはっきりと実感として体感していただけることになります。「電磁番 AZ」開発にはこれまで何人もの電磁波過敏症の方々の協力の下に実験や数多くの試行錯誤を重ねていき、試作品段階で実際に使っていただき完成させてきた20年以上の開発に関わる経緯があります。

「電磁番 AZ」は電磁波の単なる遮断ではなく、周囲から飛来する電磁波を中和し人体に悪影響を与えないよ波動に変換するという独自の発想から生まれたオリジナル製品です。「電磁番 AZ」は、電磁波を物理的に遮断するものではありませんが、人体に悪影響を与える波動そのものに干渉して変換中和放電します。

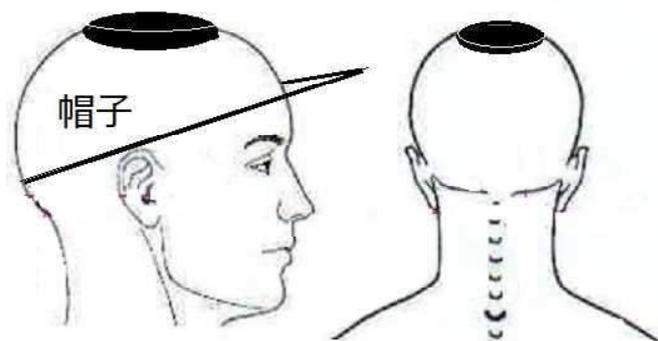
「電磁番 AZ」本体を室内にセットいただいても、電磁波測定値自体はほとんど変わりません。もとより電磁波を物理的に遮断するには頑丈な核シェルター並の設備が必要となります。

電磁波ノイズは物理的に強力な波動ですので金属やマンションのコンクリートさえ難なく突き抜けます。全国を覆うテレビの放送電波も携帯電波も同じ電磁波ですが、そうした電磁波電波は簡単に室内に侵入してきます。日本人が過敏に反応する恐ろしい放射線も電波同様の物理的な電磁波エネルギーそのものに他なりません。

現代の電気エネルギーが支配している生活空間では、電磁波の完全な遮断もそれからの逃避も不可能というべき状況下にあります。

そうしたなかで、この有害な電磁波だけを物理的に遮断するのが不可能ということであれば、電磁波そのものを中和放電するかたちで出来るだけ人体に悪影響がないかたちに変換する方法がもっとも合理的手法ではないかというのが当方の基本的なコンセプトです。

過敏症ではない健常者の方の場合であってもリングなどの筋力テストでその防御効果を比較検証していただくことは可能ですが、通常「電磁番 AZ」が室内にセットされていても特別体感としては何の変化も感じられないかと存じます。これはちょうど健常者の方にメガネや補聴器が必要でないのと同様なのですが、この場合でも健常者の方へも「電磁番 AZ」使用时には同じ様に電磁波防御効果そのものは意識されずとも一様に働いていることになります。



頭部全体を防御するときのセット方法

電磁波過敏症の症状の方で、なかには工場勤務、あるいは職場環境では1日パソコンルームに座りっぱなしの方

などおられます。多く共通するのは皮膚のぴりぴり感、かゆみ、頭痛、気分が鬱、目の疲れ、むくみ、充血、耳鳴り、息切れ、首筋から上肢にかけての引きつり感や痛みがあることです。

電磁波の影響で口内が金属の味がしたり、唾液にも変化が出る場合があります。同時に室内での化学物質過敏症がこれに重なることもあります。電磁波過敏症の初期では胸より上の身体部分に不快な症状が出易く、電磁波の影響が強い場合は時間の経過とともに下半身にまで症状が及ぶ場合があります。

周囲の波動環境の悪影響を受けると、耳鳴りに似た不快な雑音までが感じられてくる事があります。これはそうした不快なノイズ（波動）そのものに身体の準静電界に干渉して共振共鳴している状態なのです。このようなときにも「電磁番 AZ」を携帯いただくか、傍に置いていただくと防御効果が働きます。

電磁波過敏症が慢性化するにしたがって、次第に不眠症や鬱の症状が強く感じられるようになるケースもあります。多くの場合いわゆる統合失調症と混同され易いのですが、電磁波過敏症自体はそうした失調症の薬物治療では症状がほとんど改善しないのが特徴です。

電磁波過敏症そのものが慢性化してくると、次第に自律神経にまで不調が出てくるようになります。深呼吸がしづらく呼吸が浅くなったり、低体温症傾向になって手足に「しびれとも寒気ともつかないざわつく不快感」が出て発汗や吐き気があったりします。

こうした自律神経の不調は多くの場合不眠症を伴います。さらには不眠症が躰の不調や疲労感を助長させていくという悪循環を生みます。防御効果がすぐには現れない場合は、「なり始めの軽い電磁波過敏症」ではなく長期間の電磁波被曝により自律神経にまで不調が及んでおられる状態だと思われます。そのため防御効果も直ぐには現れないことがあります。

当初は、しびれとも寒気ともつかないざわつく不快感や発汗や吐き気がそれぞれ個別に過敏症に伴って出てくる 경우가あり、多くの場合は過敏症特有の不快感であって、多くの場合お薬がほとんど効きません。自律神経の不調が出てきている場合はすでに相当期間過敏症が続いておられ、これまでそうした不快な症状をずっと我慢してこられたのではないかと思います。実際に症状の深刻度によっては入院生活を強いられる方もおられます。

いずれの場合も、まずどの居場所で不調が出てくるのか、屋外、屋内それぞれの位置で電磁波の影響をご自身で確認いただく事が重要です。

電磁波過敏症を解消する具体的な対応について

「まずにやっていただくこと」就寝時には、お部屋（寝室）の家電製品はコンセントからすべて電源プラグを抜いておいてください。

また過敏症が出ておられる間は、携帯、スマホ、パソコン、車両、電車利用は出来るだけ避けてください。

「電磁番 AZ」を上半身に近い位置で装着いただき、電磁波の影響を感じておられる場合は室内でも常時 1 個は携帯してください。

屋内屋外の電磁波ノイズが過剰な場合やひろいお部屋を広範囲に移動される場合は中和装置 1 個だけではカバーできない場合がありますが、取敢えずまずは上記の通りにやってみてください。

「電磁番 AZ」を携帯していただくときは体のエネルギーバランスを整えようとしますので、周囲の電磁波の影響で体調がよくない場合などには好転反応が出る場合があります。感覚的には湯疲れしたような感じですが、それらは短時間で無くなります。その後で次第に安定するにしたがって身体効果が現れてきます。

電磁波過敏症の症状特有の症状が出ておられる場合にはすぐにでも活用いただければと思います。最初は携帯していただくのもいいのですが、いろいろな家電機器に「電磁番 AZ」を置いてみて（もしくは仮止めする）、それまでの不快感がなくなるかどうかを確認していただけます。これでもっとも影響している家電製品が特定出来る場合もあります。電磁波過敏症の特有の「ゾワゾワした気分の悪さ」や「皮膚のぴりぴりする感じ」など、ご自分の敏感な身体反応や感覚がそうした場合の一番のセンサーになります。そのときの不快感は単なる錯覚ではなく、電磁波環境による身体反応であることも自覚頂けるようになります。

日常の室内での生活でも過敏症であれば電磁波環境の異常は敏感に感じられてきます。マンションの場合はどちらの方向からの電磁波が強く影響しているのか、これも北側や南側の壁に「電磁番 AZ」をセットしてみてそれぞれ比較検証していただくとよいと存じます。

特に一般のマンションは壁自体に鉄筋が入っていますので周囲からの電磁波が集まりやすく、その影響も強くなりがちです。金属構造物の有無や部屋位置によっては極端に強く電磁波が働く場合もあります。そうした電磁波の影響が強い部屋には無防備なままでは入らないように注意して下さい。

「電磁番 AZ」は帽子やポケットに入れて携行していただいても、バックなどに入れておかれても結構です。外出時も身近に置いていただければ防御機能が働きます。

ただ、町中など周囲からたくさんの電磁波が錯綜し照射される環境（電気店など）では、体の前後に防御が必要な場合もあります。いずれの場合でも「電磁番 AZ」を電磁波被曝に対して盾のように向けていただければしっかり機能します。

その場合もっとも強い電磁波発生源（家電製品や車両エンジン）に近い位置にセットしていただくのがより効果的です。飛来方向に的確に対応していれば広い範囲の電磁波照射の影響を盾として避けることが出来ます。これは無数の矢が飛んでくるのに対し、防御の楯を体の前方に身構える姿をそのままイメージしていただくと分かり易いかと存じます。

まず屋内にセットする場合は、もっとも電磁波の不快な影響を感じる場所・部屋・方向を考慮して設置場所を選びます。東西南北のそれぞれの壁側に「電磁番 AZ」を置（仮止めする）いてみて、身体の状態（体感）を比較検証してみます。

置いた方向によって改善するのであれば、その方向からの影響を受けたことになります。その都度、電磁波測定器で計測していただいてもよいのですが、いずれの場合でも身体感覚による判別がまず優先されます。

通常は一方向からの場合が多いのですが、他方向からの電磁波が同時に影響していることもあります。屋外の送電線が一方向のみであれば、それに面した壁側に「電磁番 AZ」を盾のように装着してください。攻撃の場合は一方向だけでなく、横方向からの二方向の場合もあります。

部屋の広さでいきますと、防御範囲は四畳半の部屋の壁 1 枚単位の広さでまず対応いただければよいと思います。電磁波照射が強力であったり、あるいは電磁波被曝の方向が複数であったり、広めの部屋ですと「電磁番 AZ」1 個では一方の壁全体の防除が不十分な場合が発生します。「電磁番 AZ」の効果的なセットの手順（1）を参照下さい。また電磁波を反射したり、同調するような金属板は室内からすべて片付けておいて下さい。

電磁波過敏症では、天井部分の照明器具、蛍光灯に反応される方は多いのですが、この場合は照明器具の傘の部分、あるいは天井面に 1 個セットいただくと対応できます。

電磁波の影響する範囲は目で確認できませんので、「電磁番 AZ」を壁にセットされる場合はまず電磁波飛来の方向もですが、設置する高さの調整も同時に考慮していただく必要があります。頭より高い位置、腰の辺りの高さなどというように、個別に比較検証していただくとよい結果が出せます。通常マンション構造ですと、上の階、下の階からも予想外の生活電磁波が集中的に影響していることがあります。この場合もそれぞれセット位置の高さ、方向など個別に調整が必要になりますが、これも死角をつくらないように 1 つずつ試していただいてもっとも体が楽になるセットの組み合わせを見つけ出していただくとよいと存じます。

また同時に電磁波環境にも短期間での変化が伴いますので、防御効果に応じて月に何回か時間の経過と共にセット位置を再検証していただく必要があります。

電磁波被曝が強い街中では電磁波ノイズもあらゆる方向から飛来してきますので、このときには矢のように電磁波が体に差し込んで来るビリビリした感覚が伴うときがあります。店舗内でも同様です。強い照明のある店、電気モーターが駆動する電車や車両内のエンジンの傍、防犯レーダーがある店舗などです。

これに対して通常は、帽子やポケットに「電磁番 AZ」を 1 個入れておくだけで防御効果がありますが、それでも不快感が強くなる場合は体の背面、腰側にもう 1 個装着していただきます。この場合は「電磁番 AZ」で体の前後を防御する形となります。

これは個人差がありますので、装着位置などは工夫して使っていただくと良いと存じます。

また室内のすべての電気製品が悪影響を与えているとは限りません。それは照明の蛍光灯であったり、ガスコンロの着火プラグの火花（電磁波ノイズ）であったり、電子レンジだったりします。いずれの場合もまず最初に、ご自宅の家庭内の電磁波環境を確認しておく必要があります。室内のどの部屋で、どの家電製品で、いつごろの時間帯にどのような身体反応が生じるのか常時観察していただくことが大事です。家電製品が新たに増えた際にも注意が必要です。

「電磁番 AZ」の効果は、軽度の過敏症の方であれば短期間で確認できます。防御効果が一定期間持続することによって、やがて過敏症からも次第に回復されていきます。過敏症が強く出られる方ほど、普段苦痛を感じておられる方ほどその防御効果を直に体感していただけることになります。

ただし持続的に電磁波攻撃を執拗に受けておられる場合は対応が異なってきます。

電磁波攻撃では防御の隙間が狙われる！

ここで注意頂きたいことは、電磁波攻撃による被害の方が身体に受けるダメージ自体は数倍大きくなるということなのです。

電磁波過敏症(Electrical Hypersensitivity)と違って、集中的な電磁波攻撃による被曝によって発現するストレス症状はより深刻な場合が少なくありません。

次のような状態が続く方の場合は、マニュアルに従って防御レベルをさらに強化して頂く必要があります！

- ・電磁波による攻撃がひどく、特に後頭部の脳幹周辺と首の左右に電磁波による痛みを集中的に感じる。めまい・吐き気を伴う。医療機関で検査して貰っても身体に異状は無く、しかも薬物もまったく効かない。・特定の時間帯に、外部から振動音や超音波のような音がしつこく聞こえてくる。
- ・頭の中で人の声が聞こえてくる。あるいはフラッシュ現象、光や映像が見える。電磁波に音や光が載せられている感じがする。
- ・普段気にならない飛行機やヘリコプターの音が耳障りに響く。
- ・手足の筋肉が誰かに操られているように勝手にぴくぴくと動く。背中を押されるような感じがする。・いきなりバンッと弾かれるような衝撃を受ける。睡眠が妨害される。
- ・自宅から移動しても電磁波による不快感がどこまでも執拗に追ってくるように感じる。
- ・外部から常に監視されている、あるいは室内の様子をモニターされている感覚がある。外出時も同様。
- ・耳あたりから頭を何かがかかっているようなもぞもぞ感、あるいは痒みを感じる。
- ・こうした不可解な状態が続くことで、次第に言いようのない不安感や恐怖感に襲われる場合がある。家族や友人に話しても理解して貰えないし、追い詰められても対処法がないと考え鬱な気分になる。

体の防御方法の強化について

電磁波に晒されたときの身体反応には個人差やレベル差があります。ここに紹介したそれぞれの身体反応は、すべて体の準静電界にかかわる感覚が電磁波によって干渉を受けることで生じてくるものと考えられます。

悪質な電磁波攻撃では、この準静電界レベルの頭や体表面感覚そのものを攻撃されますので相当な不快感を持続的に受けてしまうことになります。

[体の準静電界やそれに関する詳しい情報はこちらを参照下さい。](#)

<http://www1.bbq.jp/kanemasa/data7/denkai.htm>

この場合の対処法としては、まず頭の防御として帽子に電磁番を1個入れて頂き頭頂部に当てます。これはちょうど頭を守るのにヘルメットを装着するのと同様の防御スタイルとなります。

この場合電磁番を両耳サイドに当てたり、四方をぐるりと取り巻くように個数を増やして装着する必要はありません。「電磁番 AZ」1 個を頭頂部に当てるだけで、頭全体を包むように防御することができます。

次に体の前面、胸の部分に「電磁番 AZ」1 個を装着するか、ポケットに入れて前面を防御して下さい。さらに背中に「電磁番 AZ」1 個を装着して下さい。これによって上半身の防御が出来ます。

この体勢で室内はもとより、外出時も常に携帯して防御してください。電磁波被曝に対して常に無防備にならないように細心の注意が必要です。下半身にも影響がある場合は再度設定し直します。

電磁波による障害としては攻撃によるものももっとも辛い状況だといえますが、このような状況が数ヶ月から半年近く続くことがあります。ですが、電磁番で根気よく日々防御することで次第に改善していき、最終的にはすべて解消することが可能です。決して諦める必要はありません。

室内の防御方法の強化について

「電磁番 AZ」の中和放電効果のある範囲は、目安として1つの部屋（四畳半一面で一方向）とお考えください。軽い過敏症であれば、通常「電磁番 AZ」1 個程度で十分対応出来ますが、すでに準静電界レベルでの影響下で辛い状況に晒されている場合は一部屋に5 個単位の「電磁番 AZ」が防御として必要になります。

部屋の広さや構造によって効果が変わる場合がありますが、その場合も長時間過ごされる部屋を中心にセットされるのがもっとも効果的です。

屋内全体を防御するというよりは、生活時間を多く持たれる居間とか寝室、勉強部屋などがもっとも重要な防御の対象となります。これによって生活空間を不快な電磁波被曝から守ることが出来ます。電磁波を防御する際には防御の隙間が生じないように注意してください。「電磁番 AZ」の防御範囲を考慮してい

ただくとともに、部屋によっては盾のように並べてセットすると防御効果がより生かされます。

平屋の場合と、マンションのように上下左右にも部屋がある場合とでは電磁波の影響にも大きく差が出ます。鉄骨構造ですと、その内部の柱部分に電磁波が集中的に集まります。就寝時ですと、寝室のベットの金属スプリングの影響をより強く受けます。

屋外の電磁波ではなくて、意外にも室内の蛍光灯やテレビが本当の原因だったりします。就寝時には、寝室にある家電製品のプラグは出来るだけコンセントから抜いてお休みください。家電製品は使用していなくてもコードや本体の回路内には待機電流が流れ続けています。

同時に、どの部屋にいるときもっとも体に強く影響があるのか、生活時間帯ではいつ症状が酷いのか、また外出時もそうした不快感や影響があるのかをご確認ください。

壁に「電磁番 AZ」をセットしても効果がみられない場合は、体の傍に置か直接身に付けて防御してみてください。それでも効果が確認できないときは、「電磁番 AZ」のセット位置を同じ箇所に固定せずに、場所を移動させてその都度再確認して下さい。

設置日数の経過とともに周囲の電磁波環境が次第に変化してくる場合がありますので、効果を持続させるには時々「電磁番 AZ」のセット位置を変えてリセットしていただく必要があります。

セット位置を移動させながら、もっとも効果を感じられる位置を探しつつ調整していただくことになります。

屋外からの電磁波が執拗に感じられる場合、さらには振動や音が頻繁に感じられるときには壁などに密着固定してしまうのではなく、「電磁番 AZ」を袋などに入れて壁側にそのまま吊り下げてください。複数の電磁波攻撃や周波数が頻繁に変動している波動にはこの対応法がより防御効果が発揮される場合があります。

また同時に室内の家電製品の置き位置の変更によっても室内の電磁波環境が大きく変化しますのでご注意ください。

特に室内に新しい家電製品が増えた時などは、電磁波環境がすっかり変わってしまいます。

電磁波の被曝環境下では、初期レベルの過敏症対策で早期に改善する場合がありますし、外部からの執拗な電磁波攻撃に晒され続けることで通常の防備では思うような効果が現れてこない場合もあります。電磁波攻撃の場合は設置位置を頻繁に変えてみて下さい。

多くの場合意図的な電磁波攻撃は、目標とする家屋や人に対して指向性のある電磁波（レーザー）を使用するなどして集中的に狙ってきます。しかもそれらは電磁波の強度や人体への浸透度を変化させながら、持続的に低・高周波の電磁波を方向も変えて照射してきます。

こうした攻撃は室内での動きが少ない就寝時がもっとも狙われやすく、ベッド上で定位置に姿勢を保持されていることで照射される電磁波の影響をさらに受けやすくなります。

初期レベルの過敏症対策では、一個もしくは二個程度の電磁番で中和防御出来ますが、電磁波攻撃ではより強力な指向性のある電磁波が集中的に使われるため、防御としての隙間があった場合はどうしてもその影響を受けてしまうことになります。

これを判り易く例えると、小雨程度であれば笠一本で十分対応できますが、ひどい土砂降り状態であればより防御が必要になってくるのと同様です。この場合、雨足に対して防御の傘が小さかったり、傘自体に隙間があれば雨を防げずに時間の経過と共にびしょ濡れになってしまいます。しかも土砂降り状態であれば、雨足が強くなるにしたがって傘に打ち付ける雨音が激しくなるはずですが、実際の身体反応としてバチバチ、バンバンといった雨をはじき返すような音がしたり、それなりの不快な衝撃や痛みの感覚を伴う場合があります。電磁波攻撃ではそうした隙間や死角を一つずつ塞いでいくことがもっとも重要な対処法となります。

ワンフロア以外であれば、あらゆる方向から照射された電磁波が乱反射して侵入してくるとみて下さい。それらを一つずつ根気よく塞いでいきながら防御態勢を作ってください。

最新情報をホームページで更新していますのでご確認ください。

<http://kanemasa.s1008.xrea.com/data4/den7.htm>

生体波動・気・経絡循環・自律神経の調整法紹介

「電磁番 AZ」を使った「気」の調整法
体にたまった不快な静電気・波動・電磁波を除去しませんか！

「電磁番 AZ」を使った簡単な「気」の調整法を紹介します。
「電磁番 AZ」は有害な電磁波の影響を中和するだけでなく、補助的に波動環境を整える機能を使って人体の気の流れを調整することにも活用できます。

効果そのものについては個人差がありますので、ここではひとつの特殊な健康法、あるいは簡便な気功法と考えてください。電磁波攻撃対策

ここで紹介している「気の流れ」とは、体の内部には血液よりもより分子量の小さい微細な流れがあるという東洋医学の捉え方に基づいています。

気功法でよくいわれることは、邪気が蓄積し体の正常な気の流れが滞ってくると次第に体調が悪くなり、不快な症状や痛みが出てくるということです。

邪気を取り除き気の流れを正常に整えやればこれらの症状は自ずと解消されてきます。

体内の気の流れがよくなると血液の流れもスムーズに流れます。

気の流れが悪くなると同時に血液循環も悪くなるというのが東洋医学本来の考え方です。

気功法というのは本来、体内の気の流れを整えることによって健康な血液循環を保っていこうという健康維持のための体操法なので



す。

もっと分かり易く言えば、気の流れそのものが悪くなると体内に邪気が発生することで、いずれ体調を崩してしまい病気を引き起こすと言われてきました。

ここでいう邪気とは生体内で健康を損なう病原菌などの反生理的な作用をするものの総称として使われてきた古い言葉なのですが、邪気の本当の正体とは一体何なのでしょう？

現代風に言えば、邪気とは血液循環が弱ったときに体内に発生してくる有毒な活性酸素（スーパーオキシド）というこになります。

活性酸素は組織細胞を破壊するだけでなく、ここでも血液循環が大きく関与してくるのです。

活性酸素は病原菌はもとより有毒な化学物質、放射線（物理的最強の電磁波）の影響でも体内に大量に発生してくるものです。

放射線同様に生活環境に溢れる物理的電磁波ノイズも体内の邪気発生の原因になります。

活性酸素は体内で過剰に作られると、神経細胞や組織は内側から傷つけられてしまうのです。体の老化や動脈硬化ということだけではなく、活性酸素は多くの病気やガンの原因としても関わっています。

もとよりこの体内に発生した活性酸素を除去する力には、どうしても年齢差や個体差が出てきてしまいます。

免疫力や除去する力が弱ければ、その分だけより大きな悪影響を受けてしまいます。

体内の活性酸素は速やかに除去されることが望ましいのですが、逆に過度に活性酸素の影響を受けてしまう、あるいは体が過敏に反応してしまうという状況も出てきます。

これを防ぐには、出来るだけ不必要な活性酸素を作らせない生活環境や健康管理が重要になってきます。

この活性酸素そのものは電磁波環境下では体内で格段に発生しやすくなるのです。現代において、いかに電磁波被曝を少なくした生活空間を確保するかは非常に重要なことといえるのです。

電磁波過敏症とは医学事典にも一切記載のない傷病名であって、よく心療内科でいわれる統合失調症と混同されてしまうことが多いのですが、この二つはまったく異なる疾患とみなされます。

統合失調症に使われる薬物は電磁波過敏症にはほとんど効果はなく症状が改善されません。

電磁波過敏症には不眠症や鬱の状態が現れることがありますが、それ以外に皮膚のムズムズする違和感や目の痒み、熱感、湿疹、耳鳴り、喉の渇きなどの不快な身体症状が伴います。

電磁波過敏症の症状についてはこちらを参照ください。

<http://denjiban.webcrow.jp/data4/den03.htm>

「電磁番 AZ」は電磁波被曝対策の器具であって治療専用器具ではありませんのでご了解ください。

波動環境改善グッズ、風水グッズです。

健康に重要な波動環境や経絡情報についきましては、参考文献や資料をいくつか挙げておりますので関心のある方は参照ください。

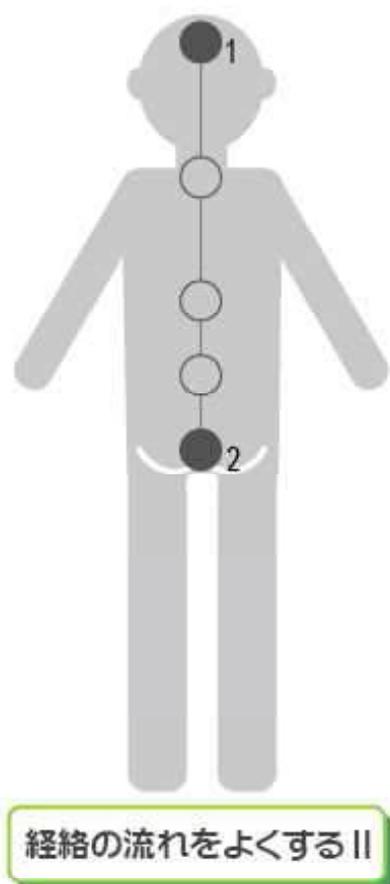
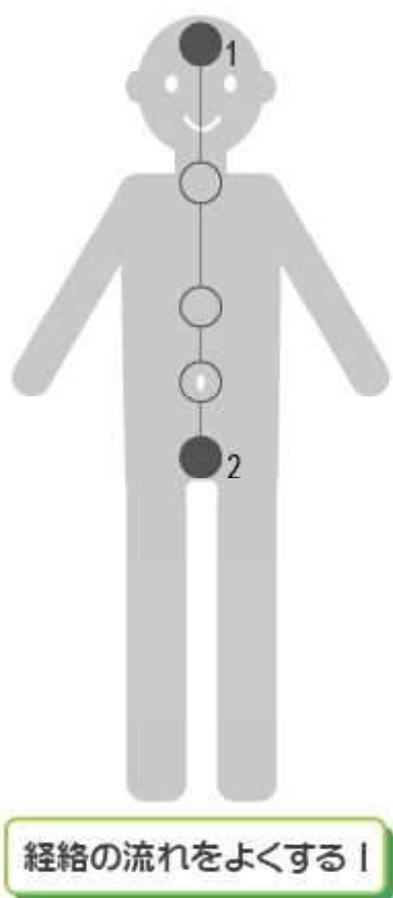
実際の使用例と各セット位置を以下、解説いたします。

①頭部と下腹部、仙骨部にセットします。そのまま20～30分程度経過してほのかな温かみや皮膚面がジンジンしてきたら完了です。時間には制限はありません。ジンジンする感覚は主観的なものですが、人によっては熱感や脈打つような拍動感の場合もあります。

ただしこれらは血行がよくなったための反応であり、不快な感覚ではありません。

セット位置が間違っても何の支障もありません。

またセット位置の多少のずれは補正されます。このとき同時に腹式呼吸を行うとより効果的です。

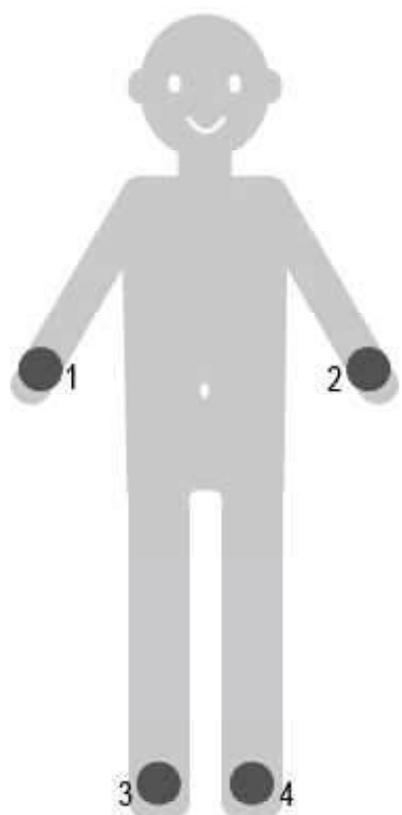


②全身の経絡を調整し、気の流れをよくします。毎日できる簡単な健康法です。楽な姿勢でそのままおきます。

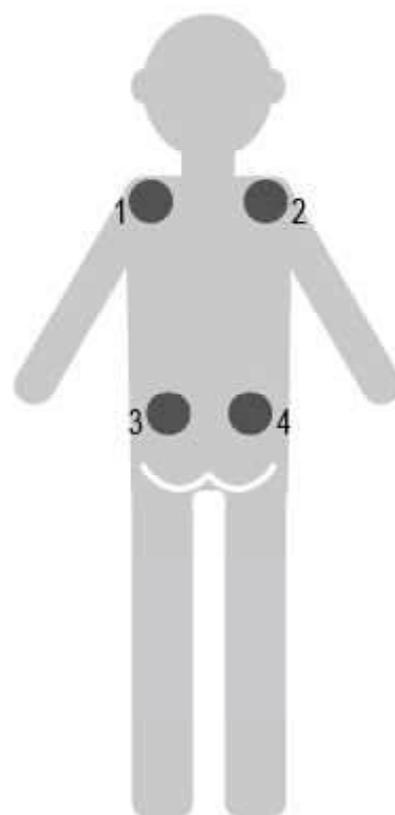
セット時間は10分から長くても30～60分程度で結構です。

セット時間には制限はありません。皮膚面にほのかな温かみやジンジンした感覚が感じられれば完了です。

セット位置の多少のずれは補正されます。このとき同時に腹式呼吸を行うとより効果的です。



全身の気の流れを調節する



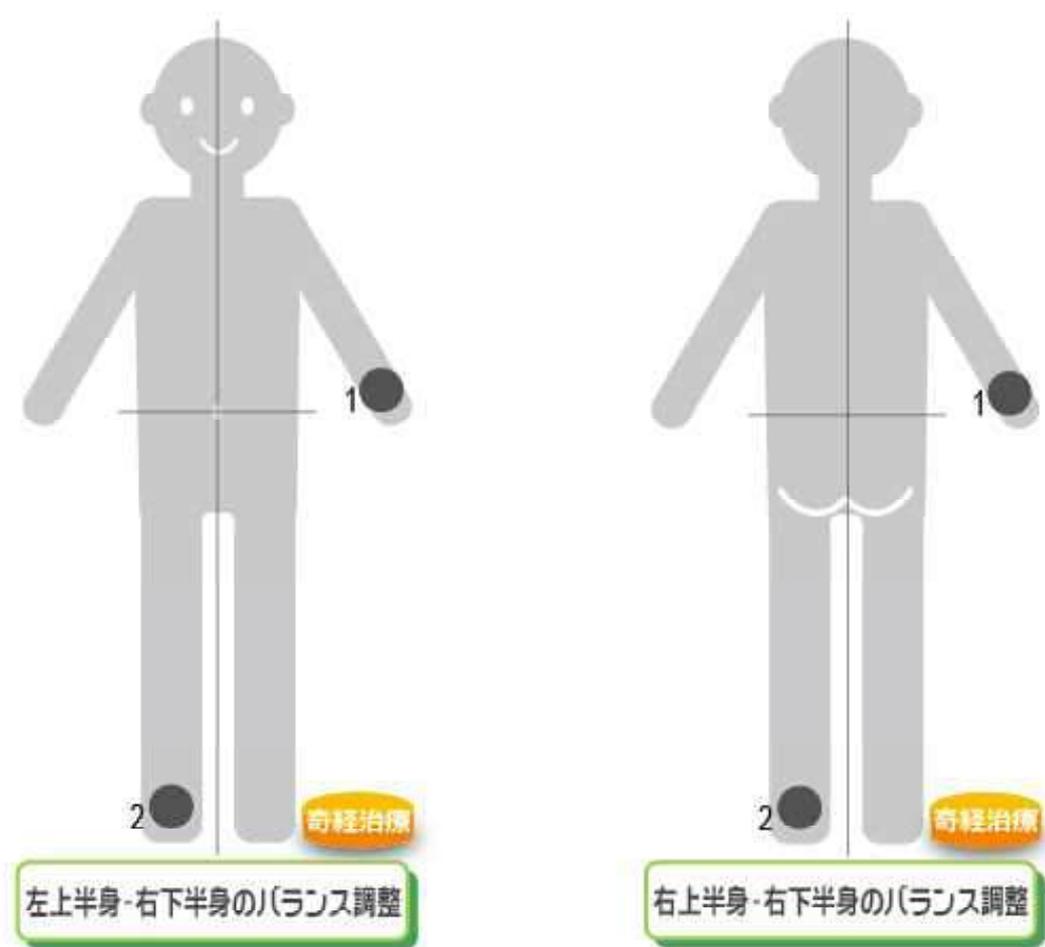
肩-腰の気の流れをよくする

③急性の不調時に即効性があります。イラストのように気になる体の片側に近い方の（手掌・足裏）に一個をセットし、もう片方は必ずかすがい（反対側）の（手掌・足裏）にセットします。

セット時間は10分程度ですが、時間に制限はありません。

この場合はセット位置がずれたり間違っていると効果がありません。

セット位置がずれないようにバンドなどで固定してください。



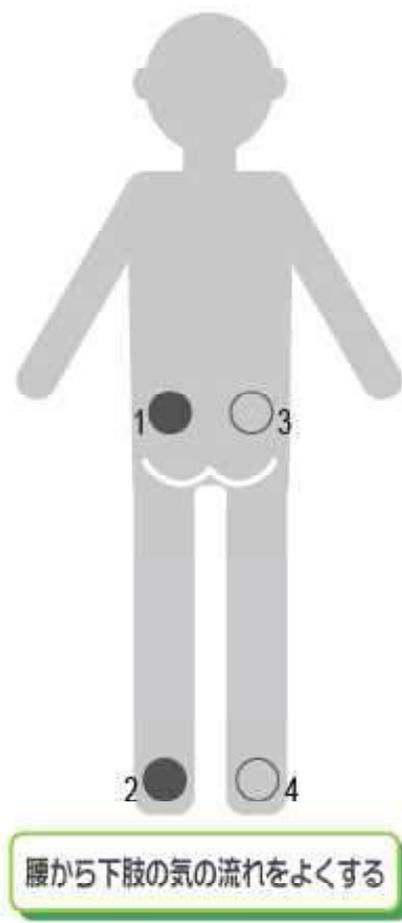
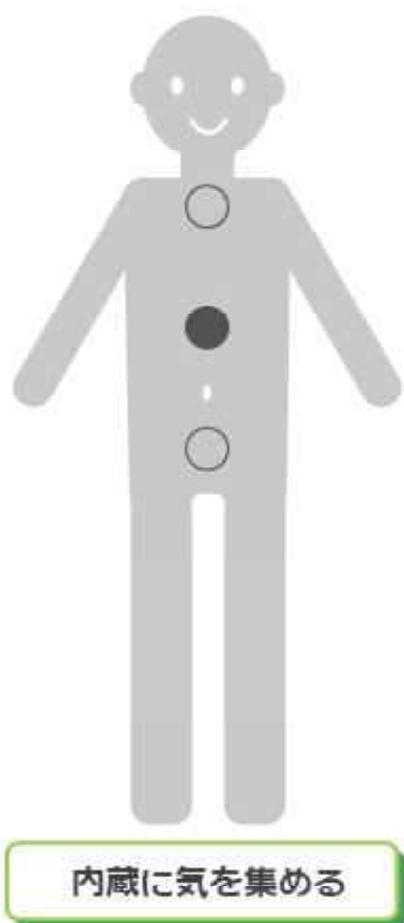
④睡眠がうまくとれない不眠症などにも応用できます。セット数やセット位置は自由に変えていただけます。

気になる部位を中心に上半身、または下半身に当ててください。

セット時間は皮膚面に温かみやジンジンした感覚が出てくるまで楽な姿勢でそのままおきます。時間に制限はありません。

セット位置の多少のずれは補正されますが、出来たらバンドなどで固定ください。

このとき同時に腹式呼吸を行うとより効果的です。



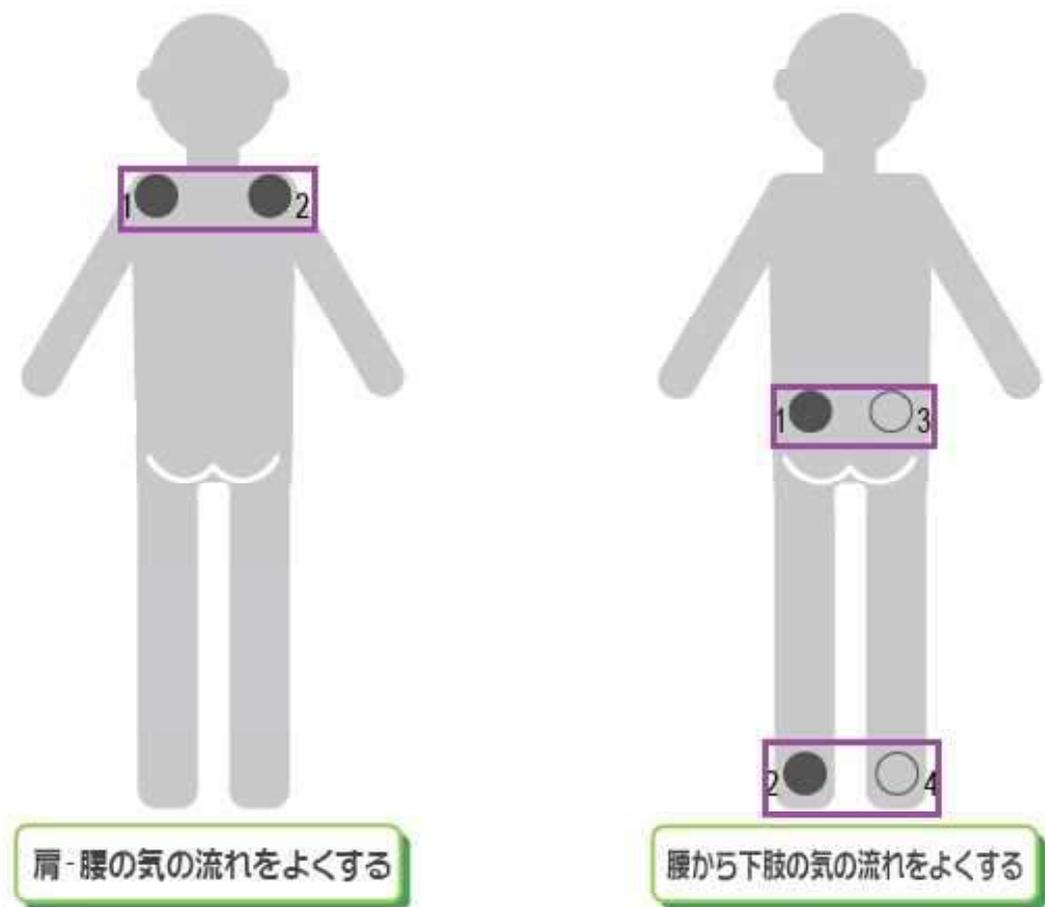
⑤上半身の不調がある場合は、胸側だけでなく背中に並べてセットしてみてください。

この場合も気の流れが改善すると温かみやジンジンとした感じがしてきます。セット時間に制限はありません。

セット数やセット位置は、部位別に上下方向に自由に変えていただくにより効果的です。

セット位置の多少のずれは補正されます。

このとき同時に腹式呼吸を行うとより効果的です。



Copyright (C) 2021 KANEMASA All Rights Reserved.